



<CAM インドネシア・リサーチ・レポート>

2019年7月2日

インドネシアの自動車輸出

トップ4が二桁の伸び

インドネシア自動車製造業者協会によると、5月の完成車（CBU）輸出台数は前年同月比+30%の2万6,067台であった。上位4メーカーが同二桁の伸びとなった。+190%と最も伸びた三菱自動車の小型多目的車（MPV）輸出のうち2,800台はベトナム向けであった。完全組み立て生産（CKD）モデルの輸出台数は5割増の1万578台、輸出部品は12%増の854万個だった。

1～5月のCBUの累計輸出台数は前年同期比18%増、輸入台数は34%減、生産台数は7%減だった。

CBU（Complete Built Up）：完成車。自走可能な状態にある車。

CKD（Complete Knock Down）：部品単位に分解されている自動車。現地で組み立てる。

メーカー・ブランド別輸出台数（CBU）

メーカー	5月			1～5月		
	台数	前年同月比	シェア	台数	前年同期比	シェア
ダイハツ	11,572	16.7%	44.4%	46,821	16.8%	40.5%
トヨタ	8,476	18.1%	32.5%	33,787	-15.8%	29.3%
三菱自動車	3,926	189.7%	15.1%	21,566	1168.6%	18.7%
スズキ	1,832	50.3%	7.0%	11,119	-19.2%	9.6%
現代自動車（乗用車）	56	-76.7%	0.2%	1,347	31.5%	1.2%
日野自動車	205	-4.7%	0.8%	870	-16.7%	0.8%
合計	26,067	29.5%	100.0%	115,510	18.2%	100.0%

ダイハツの台数にはトヨタへのOEM供給品も含まれる。

出所：インドネシア自動車製造業者協会（ガイキンド）

以上